

みなみかぜ 南風通信

牧之原市立川崎小学校
コミュニティスクール



Vol.16 2022.5.11

駐車場誘導ボランティア

4月16日授業参観日、川小応援団のみなさんに駐車場での車の誘導をお願いしました。あいにくの天気で皆さんには大変な思いをして頑張ってくださいました。今回のボランティア活動では、少し課題も残りました。このような雨の日には、保護者の皆さんや学校周辺公共施設等にご協力をお願いして、気持ちよく円滑な駐車場誘導ができればと思います。

「下校指導」で繋がりました

4月11日から28日まで、一年生への下校指導がありました。民生委員のみなさんや川小応援隊のみなさん19名（延べ155人）にご協力をいただきました。初日は、混乱もありボランティアのみなさんも子供たちも困惑ぎみでした。2週目あたりからは、お互いに顔も覚えて楽しそうでした。13日間でしたが、下校ルートや危険個所の確認や基本的なことについて教えてきました。「5月からは自分たちで帰るぞ」と激励すると「大丈夫！大丈夫！」と頼もしい返事が返ってきました。ボランティアの皆さん、本当にありがとうございました。お世話になった皆さんには、先生方と相談して、子どもたちからの「ありがとうのメッセージビデオ」をお届けするつもりです。子供たちも、地域の皆さんの顔を覚えました。繋がることができ本当に良かったです。



下校ボランティアの皆さんありがとうございました

R4 第一回地域学校協働活動推進員（CSD）交流会

4月22日 橋本教育長よりCSDに対し委嘱状が交付されました。その後、11名のCSDが榛中学区と相中学区の2グループに分かれて交流会を行いました。昨年と変わらぬ顔ぶれに、少し安心したような気がします。「昨年の活動を振り返って」を皮切りに「今年度の目標」など意見交換が行われました。他校と比較することは避けようと心がけていますが、どうしても気になります。お互い同じような悩みや疑問が話題になると、それまでの固い感じの雰囲気ガラッと変わります。多くのコミュニティ・スクールでボランティア人材の確保について苦労されているようです。「せっかく登録してもらってもボランティアの機会がないと離れていってしまう」「後継者がいない」「特定の人に頼ってしまう」という事例も紹介されました。自分も同じようなことを感じています。昨年、計画倒れに終わった「川小応援隊の集い」を今年こそ開催したいと思います。



委任状	
村上 和秋	地域学校協働活動推進員 (CSディレクター)
川崎小学校の地域学校協働活動推進員（CSディレクター）を委嘱する	
報酬は、時間給 〇〇〇とす	

嬉しいことがありました ～ ある女子児童との会話 ～

廊下を歩いていると、3年生らしい女子児童が元気なあいさつをくれました。すれ違った後に戻ってきて「おみくじ、やめたが-?」と聞くので、思わず私「やるよ〜ツ」「ゴールデンウィークが終わったらね」と応えました。少し考えた後児童「やった〜ツ」。あいさつおみくじを待っていてくれる子どもがいたことに嬉しくなりました。しかし、なぜこの子は少し考えたのか？たぶん「ゴールデンウィーク」がよくわからなかったのかもしれませんが。休み明けに「あいさつおみくじ」を始めたいと思います。一年生には、月曜日の朝に説明できればと思います。



応援隊さん紹介 New Face !

いけだみよこ
池田三四子さん（静波10丁目）

すごく明るく頼もしい方をご紹介します。ムラッキーと同時期に榛原電報電話局（NTT）に勤務されていました。最近まで民生委員としてご活躍されていて、地域での信頼も厚く、面倒見のいい方です。「川小のためなら！」と川小応援隊に入っていました。5年生と3年生にお孫さんがいらっやいます。早速、駐車場誘導や下校指導をお願いしたところ、一つ返事で引き受けてくれました。花壇の応援もお願いできそうです。



駐車場誘導



下校指導

地域の皆さんからいただきました

孟宗竹（池ネット補強用） 提供：神谷好一様



田んぼの土（バケツ稲作用） 提供：本杉勝男様

田村浩利様 増田喜隆様 小村絹子様 大石千寿様



おがくず（保健室用） 提供：(有)木村製材様

